



平成28年5月13日

各位

会社名 宮越ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 宮越 邦正
(コード番号 6620 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 板倉 啓太
(TEL 03-3298-7111)

平成28年3月期通期連結業績予想と実績の差異及び為替差損の計上に関するお知らせ

平成27年5月15日に公表いたしました平成28年3月期通期の連結業績予想数値と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成28年3月期通期連結業績予想数値と実績の差異 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,150	625	725	315	20.28
実績値 (B)	1,365	628	382	614	39.53
増減額 (B-A)	215	4	△342	299	—
増減率 (%)	18.7	0.6	△47.2	95.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	2,245	514	510	1,404	90.41

(注) 当連結会計年度より、「売上高」は「営業収益」に表示変更しております。

2. 差異の理由

① 繰延税金資産の計上

当期及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性のある部分につき繰延税金資産を計上することとし、これに伴い法人税等調整額△140百万円(△は利益)を計上いたしました。

② 連結業績

営業収益につきましては、不動産賃料の上昇や更新等により予想数値を上回ることとなりましたが、一方で不動産開発事業に関する費用計上等により営業原価が増加し、営業利益は予想数値に比べ微増となりました。

経常利益につきましては、期初に想定した為替レート(1USD=6.12RMB)が期末において大幅に人民元安に推移したことに伴い、USD換算による資産の評価が減少し、為替差損375百万円を計上することとなり予想数値を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記理由及び関係会社間の債権の無税償却による法人税等の減少額352百万円、上記①による法人税等調整額△140百万円の計上、並びにこれらを要因とする非支配株主に帰属する当期純損失140百万円の計上等により予想数値を上回る結果となりました。

※ 平成28年3月期通期の業績の詳細につきましては、本日公表の「平成28年3月期 決算短信」をご参照ください。

以上